

浮かびあがった

# 新しいまちの青写真

益城町復興計画策定に向けて

町は、今回の震災によって新たに発生した課題や改めて見直すべき課題を踏まえて、町が魅力的で活力があり、発展するまちに向かつていくため、「第5次益城町総合計画」を基本に据えながら、12月をめどに「復興計画」の策定を進めています。

7月6日の「震災復興基本方針」の策定以降、町復興計画策定委員会では、「住民生活の再建と安定」「災害に強いまちづくり」「産業・経済の再生」の三つを基本理念とし、住民意見交換会をはじめ、全世帯対象の住民アンケート、若い人を対象としたワークショップなどを行いました。そこで皆さんからいただいたたくさんのご意見を踏まえながら、本町が目指す将来像や復興に向けた取り組みなどを「復興計画(案)」(以下、「計画案」という)として整理しました。

計画案には、震災によって失われた「安らぎのあるくらし」や「美しいふるさとの姿」を取り戻し、総合計画で掲げている「水とみどり豊かで人安らぐ『夢・創造』のまち」という将来像を実現しつつ、さらに魅力あるまちへと発展していくことで、将来の世代にとっても住み続けたいまちへ復興するという想いを込め、

**「住み続けたいまち、  
次世代に継承したいまち」**

という復興将来像を掲げました。

計画案では、この復興将来像の実現に向けた5つの「シンボルプロジェクト」を掲げ、総合計画に掲げる8つの分野ごとに、現状を踏まえながら達成すべき目標と取り組みの方向性を整理しました。その概要は次のとおりです。